

インストールガイド

マニュアル操作編

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D204012-11

目次

ご注意 4
この説明書について 5
本文中の表記について 5
マークについて 5
本書および関連説明書の入手方法 5

第 1 章 RasterLink8について

1.1 はじめに 8
システム構成 8
1.2 製品仕様とシステム要件 9
製品仕様 9
システム要件 10

第 2 章 RasterLink8のセットアップ

2.1 セットアップの流れ 14
2.2 インストール前の設定 15
2.3 RasterLink8のインストール 17
インストールの手順 17
2.4 ライセンス認証 20
シリアルキーの発行について 20
RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合 20
RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合 22
2.5 プロファイルのインストール 28
プロファイルのインストール手順 28
2.6 RasterLink8の初回起動 34
初回起動の手順 34
プリンターの登録手順 36
2.7 MimakiドライバーとRasterLink8のバージョンアップ 44
MA2からバージョンアップ 44
公式サイトからのインストーラーのダウンロード 44

第 3 章 RasterLink8の機能拡張

3.1 RasterLinkToolsのインストールとバージョンアップ 46
3.2 CuttingLinkのインストール 47
システム要件 47
インストールの手順 47

第 4 章 RasterLink8のアンインストール

4.1 アンインストールの流れ 50

4.2 ライセンス認証の解除方法..... 51
RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合..... 51
RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合 52
4.3 アンインストールの手順 57

第 5 章 こんなときは

5.1 ライセンス認証に関するトラブルシューティング..... 60
事例ごとの対処方法 60
PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法 61
5.2 プリンター登録時に名称重複エラーが出る、またはホットフォルダーの作成に失敗する場合 63
5.3 プリンター登録でプリンターが見つからない場合..... 65

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Apple、Macintosh、macOSは、Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11は、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本書は、RasterLink8をインストールし、使用できるようにするまでの設定について説明します。

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[完了]、[フルカラー]のように[ ]で囲っています。
- プリンターの名称は、ご使用の製品名に置き換えてご覧ください。
- RasterLink8をインストールしたPCを"RasterLinkPC"と表記します。

マークについて

		内容
重要!	重要	「重要」マークは、RasterLink8をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）

第 1 章 RasterLink8について



この章では...

RasterLink8の概要について説明します。

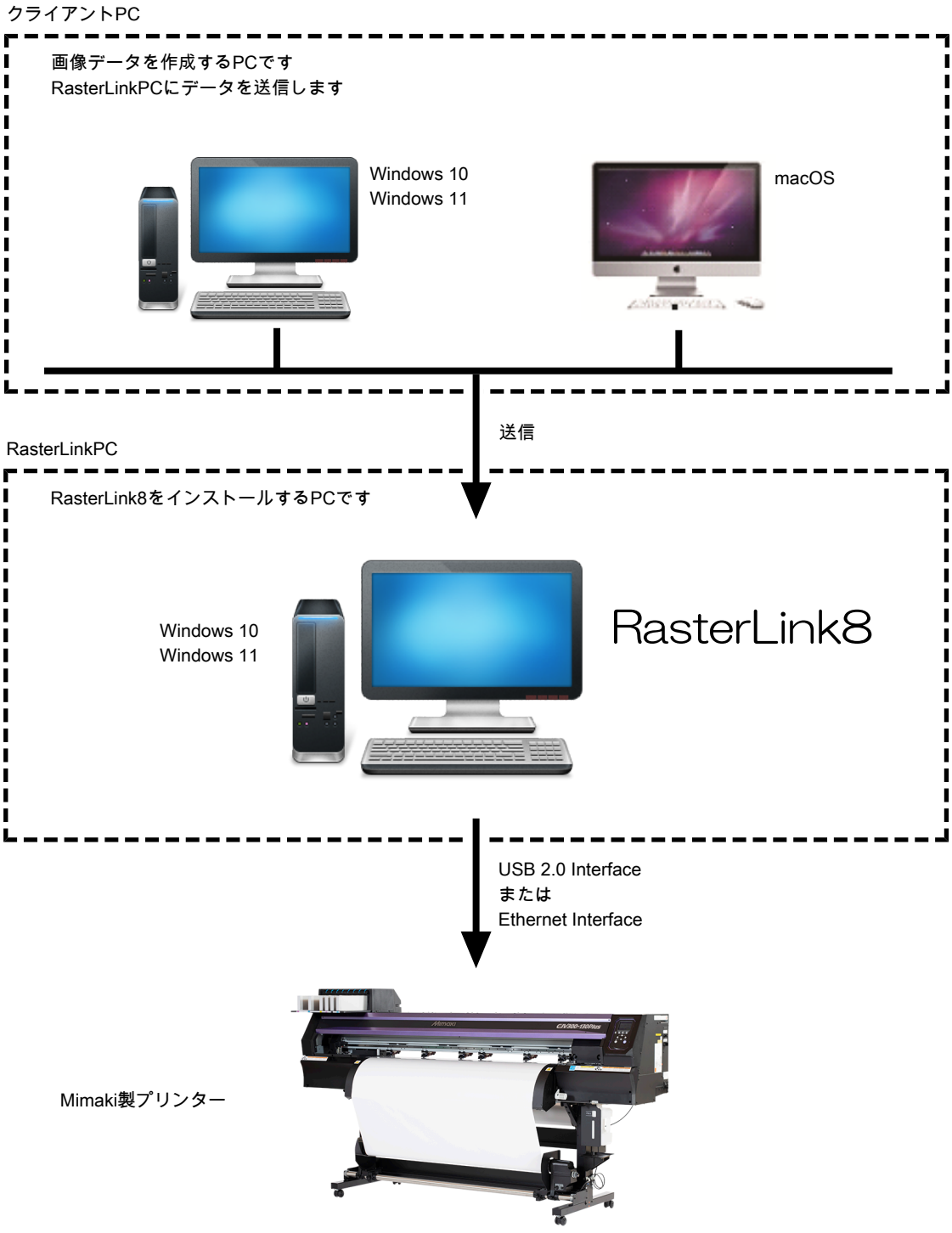
はじめに 8
　システム構成..... 8
製品仕様とシステム要件 9
　製品仕様.....9
　システム要件 10

1.1 はじめに

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

RasterLink8は、各種画像データを読み込んで、ミマキエンジニアリング製インクジェットプリンターに作画データを送信するアプリケーションソフトウェアです。

システム構成



1.2 製品仕様とシステム要件

製品仕様

対象のプリンター

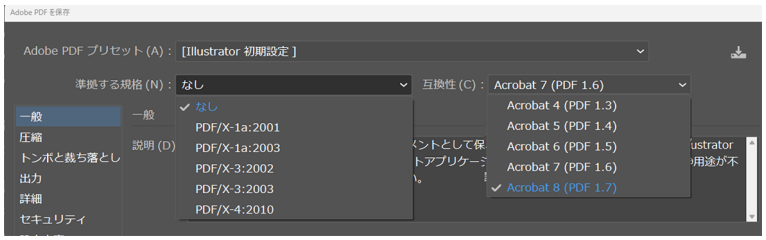
RasterLink8はミマキエンジニアリング製のインクジェットプリンターに対応します。
プリンターは同時に４台まで接続可能です。

入出力可能な印刷データ

入力データ形式	PostScript（PS ファイル）、EPS、TIFF、JPEG、PNG、BMP、PDF*1*2 • AI はサポートしていません。 • TIFF データでのアルファチャンネルは使用できません。
デザインアプリケーション	Adobe Illustrator CC～ Adobe Photoshop CC～
ポストスクリプトフォント	欧文 35書体　標準 フォント追加は不可
スプール可能なイメージサイズ	• 幅方向：5mm ～10871mm • 送り方向：5mm ～10871mm
スプール可能な最大ファイルサイズ	2GB
RIP 処理可能な最大イメージサイズ *3	• 幅方向：60m • 送り方向：100m

*1. サポートしているPDF規格は以下の通りです。
PDF1.3、PDF1.4、PDF1.5、PDF1.6、PDF1.7、PDF2.0、PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4

Adobe IllustratorでPDF保存する時の推奨の規格は以下の通りです。
[準拠する規格]→[なし]
[互換性]→[Acrobat 8(PDF1.7)]



*2. 以下のPDF機能はサポートしていません。
PDF1.5 以上 ： レイヤー機能、動画埋め込み機能、Flash埋め込み機能、パスワードロック機能
PDF1.6 以上： 3D機能、JDF機能

*3. 印刷データの作り方によっては、上記の画像サイズでもRIP することができない場合があります。この場合、データの作り方を変えるか、アプリケーションソフトウェアで分割印刷をしてください。
特色インク（白インクなど）を使用する場合、解像度によって幅方向の最大サイズが制限される場合があります。ご使用のプリンターの取扱説明書に記載されている「最大作図範囲」を確認してください。

システム要件

RasterLink8インストール用PC

● 動作OS

重要！
- 記載の動作仕様において、弊社ソフトウェアが正常に動作しない場合は、OS／ブラウザ等のバージョンが影響している可能性があります。
  OS／ブラウザ等のバージョンが古い場合は、お使いの環境を最新バージョンに更新してお使い頂くことを推奨します。

OS*1	Microsoft® Windows 10® Home (64bit 版) Microsoft® Windows 10® Pro (64bit 版) Microsoft® Windows 10® Enterprise (64bit 版) Microsoft® Windows 11® Home Microsoft® Windows 11® Pro

*1. Windows 10: バージョン2004以降

● 推奨システム

OS	Windows® 11 Pro 64bit
CPU	Intel® Core™ i5-10500（3.0GHz）以上*1
メモリー	8GB以上 *2
ハードディスク	1TB以上の空き容量（NTFSフォーマット）
インターフェイス	Ethernet ポート *3 , USB2.0 *4

*1. Intel純正のCPUおよびチップセットを使用してください。使用しない場合、出力中にエラーが発生し、出力が中断される可能性があります。

*2. 並列RIP実施時は、推奨16GB以上。NEXA-160UVの場合は、16GB以上。

*3. ライセンス認証を行うために必要です。（インターネットに接続していない、またPPP接続ネットワークデバイスなどを使用している場合でも必要です。）
(Ethernet接続対応のプリンターのみ)Ethernetポートは、プリンターを接続する際に必要です。1000BASE-T(ギガビット)対応のPCを使用してください。詳細は以下の重要欄をご覧ください。

*4. USB2.0ポートはプリンターと接続する際に必要です。プリンターと接続する際、USBハブおよび延長ケーブルは使用しないでください。出力中にエラーが発生し、出力が中断する可能性があります。

重要！ ネットワーク経由で印刷を行うには、以下の環境を準備する必要があります。下記条件より低いスペックの場合、通信が安定しないおそれがあります。
- PC：LANポートが1000BASE-T（ギガビット）に対応していること
- ケーブル：CAT6またはCAT6AのLANケーブルであること
- ハブ（使用する場合）：1000BASE-T（ギガビット）対応であること

- 最新情報については弊社公式ウェブサイト(https://japan.mimaki.com/)をご覧ください。

● ネットワーク経由で印刷を行う場合の制限事項

- 無線LAN、PLCでは利用できません。
- VPNでは利用できません。
- 無線LANと併用する場合、プリンターと接続できないことがあります。その場合は、無線LANをオフにして利用してください。
- RasterLinkPCとプリンターが同一セグメント上にある場合のみ利用できます。
- プリンターへのデータ転送中にネットワークに高負荷がかかると（例：動画ダウンロードを一緒に行うなど）転送速度が十分に得られない可能性があります。

対応測色器

RasterLink8で使用できる測色器は以下のとおりです。ただし、機能によって使用できる測色器が異なります。

RasterLink8上での表示名	対象測色器	メーカー	機能		
			[色置換設定]画面の測色色置換	キャリブレーションツール	エミュレーションツール
i1Pro	i1Pro/i1Pro 2	X-Rite	○	○	○
i1iO	i1iO 2	X-Rite	×	○	○
i1Pro3	i1Pro 3	X-Rite	○	○	○
i1Pro3 PLUS	i1Pro 3 PLUS	X-Rite	○	○	○
i1iO3 with i1Pro3	i1iO 3 (i1Pro 3接続時)	X-Rite	×	○	○
i1iO3 with i1Pro3 PLUS	i1iO 3 (i1Pro 3 PLUS接続時)	X-Rite	×	○	○
SpectroLFP	Spectro LFP	Barbieri	○	○	○

重要！ • RasterLink8インストール時に、測色器のドライバーはインストールされません。使用する測色器のドライバーは別途インストールしてください。

クライアントPC

クライアントとして使用できるPCのOSは以下のとおりです。
ただし、RasterLinkPCのOSにより接続できない、もしくは接続できるが機能が限定されるクライアントPCがあります。
クライアントPCとの接続の詳細については弊社公式サイトにある「ネットワーク接続ガイド」をご覧ください。

● WindowsクライアントPC用OS

OS	Microsoft® Windows 10® Home (64bit 版) Microsoft® Windows 10® Pro (64bit 版) Microsoft® Windows 10® Enterprise (64bit 版) Microsoft® Windows 11® Home Microsoft® Windows 11® Pro

● MacintoshクライアントPC用OS

OS	macOS 10.12 ～10.15,　macOS 11～26

第 2 章　RasterLink8のセットアップ



この章では...

RasterLink8のインストール方法、および必要な設定について説明します。

セットアップの流れ 14
インストール前の設定.....15
RasterLink8のインストール 17
　インストールの手順..... 17
ライセンス認証 20
　シリアルキーの発行について 20
　RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合 20
　RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合..... 22
プロファイルのインストール.....28
　プロファイルのインストール手順 28
RasterLink8の初回起動 34
　初回起動の手順.....34
　プリンターの登録手順 36
MimakiドライバーとRasterLink8のバージョンアップ.....44
　MA2からバージョンアップ.....44
　公式サイトからのインストーラーのダウンロード 44

2.1 セットアップの流れ



- Mimaki Application Assistant (MA2)でインストールする場合は、別冊「Mimaki Application Assistant　ユーザーズガイド」をご覧ください。

1. インストール前の設定

☞「インストール前の設定」（P. 15）

- 使用する機種に対応したMimakiドライバーをインストールします。
  Mimakiドライバーはプリンターの登録や接続する際に必要です。
- Windows Updateの更新設定を変更します。
- スリープの設定をオフにします。

2. RasterLink8のインストール

☞「RasterLink8のインストール」（P. 17）

- 弊社公式サイトからインストーラーをダウンロードして、RasterLink8をインストールします。

3. ライセンス認証

☞「ライセンス認証」（P. 20）

- ライセンス認証を行います。

4. プロファイルのインストール

☞「プロファイルのインストール」（P. 28）

- 使用するプリンター、インクに合ったプロファイルをインストールします。

5. RasterLink8の初回起動

☞「RasterLink8の初回起動」（P. 34）

- プリンター登録を行います。

6. RasterLink8のバージョンアップ

☞「MimakiドライバーとRasterLink8のバージョンアップ」（P. 44）

- RasterLink8を最新版にバージョンアップします。

7. ネットワークの設定

- 必要に応じて、ネットワーク接続を設定します。
  RasterLink8のホットフォルダー機能やプリンタードライバー機能を使用すると、他のPCからネットワーク経由で画像を読み込むことができます。
  設定方法については弊社公式サイトに掲載されている「ネットワーク接続ガイド」をご覧ください。

2.2 インストール前の設定

RasterLink8をインストールする前に以下のことを行ってください。

1 Windows 11をお使いの場合、セキュリティ機能「スマート アプリ コントロール」をオフにしてください。

- Windows 11のセキュリティ機能「スマート アプリ コントロール」がオンの場合、ソフトウェアがインストールできない、または正常に動作しない現象が発生します。
  Windowsのスタートメニューの[設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Windowsセキュリティ] - [アプリとブラウザーの制御] - [スマート アプリ コントロールの設定]でオフにしてください。

2 使用する機種に対応したMimakiドライバーをインストールしてください。

重要!

- インストール時、以下の画面が表示されることがあります。その場合、[インストール]をクリックしてください。





- Mimakiドライバーは弊社公式ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/）からダウンロードできます。対応機種はMimakiドライバーのダウンロードページで確認できます。

重要!

- Mimakiドライバーv5.0.0以上をお使いの場合、RasterLink8の起動に必要な"unitMDC.exe"がウィルス対策ソフトの検疫で誤検出や駆除されることがあります。
  Mimakiドライバーをインストール後、再起動前にウィルス対策ソフトで"C:\Program Files\Mimaki\MimakiDeviceController\unitMDC.exe"を例外設定（除外設定）してください。

- **Windows 11の場合**

重要!

- [設定] - [Windowsセキュリティー] - [コア分離] - [メモリの整合性]をオフに設定してください。
  オンの場合、ドライバーが正しくインストールできない、または正常に動作しないことがあります。

3 Windows Updateの自動更新の設定を確認してください。

- RasterLink8の起動中にPCが再起動されると、以後RasterLink8が起動できなくなる可能性がありますので、以下の設定を行ってください。
- **Windows 10の場合**

  (1) PCが自動で再起動されないようにWindows Updateの更新を一時停止する設定にしてください。以下の箇所で設定を行います。
  [設定] - [更新とセキュリティ] - [Windows Update] - [詳細オプション] - [更新の一時停止]

  (2) アクティブ時間内にPCが再起動されないようにアクティブ時間を設定してください。
  以下の箇所で設定を行います。
  [設定] - [更新とセキュリティ] - [Windows Update] - [アクティブ時間の変更] -[アクティブ時間]

- **Windows 11の場合**

  (1) PCが自動で再起動されないようにWindows Updateの更新を一時停止する設定にしてください。以下の箇所で設定を行います。
  [設定] - [Windows Update] - [更新の一時停止]

  (2) アクティブ時間内にPCが再起動されないようにアクティブ時間を設定してください。以下の箇所で設定を行います。
  [設定] - [Windows Update] - [詳細オプション] - [アクティブ時間]

4 スリープの設定をオフにしてください。

- PCを自動的にスリープ(休止状態)にする設定が有効な場合、RasterLink8が処理中であってもスリープすることがあります。この場合、処理および出力は停止し、RasterLink8のシステムが壊れる可能性があります。
  以下の箇所で設定を行います。
  [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] - [コンピューターがスリープ状態になる時間を設定]で、[コンピューターをスリープ状態にする]を[なし]に設定

重要!

- 画面の電源を切る設定をオンにしている場合、マウスのクリックやキー操作で消灯から復帰させると、RasterLink8で意図しない動作が実行されることがあります。
  画面を消灯から復帰させる場合は、マウスをクリックしない状態で左右に動かすか、またはEscキーを押して画面の消灯を解除してください。

5 電源モードの設定を[最適なパフォーマンス]にしてください。

- 電源モードの設定が[最適なパフォーマンス]以外に設定されている場合、RIP速度が遅くなることがあります。以下の箇所で設定を確認してください。
  [Windowsのスタート]メニューを右クリックし、[電源オプション] - [電源モード]

2.3 RasterLink8のインストール

重要！ • RasterLink8のインストールは、Administrator権限のあるユーザーで行ってください。

弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）からRasterLinkPCにインストーラーをダウンロードし、インストールします。

RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合は以下の方法でRasterLink8のインストーラーを入手してください。

- インターネットに接続しているPCをお持ちの場合、そのPCにインストーラーをダウンロードし、インストーラーをRasterLinkPCにコピーしてインストールします。
- インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合、販売店 または弊社窓口にご連絡ください。

インストールメニューが起動する前にユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックすると、インストール画面が表示されます。



インストールの手順

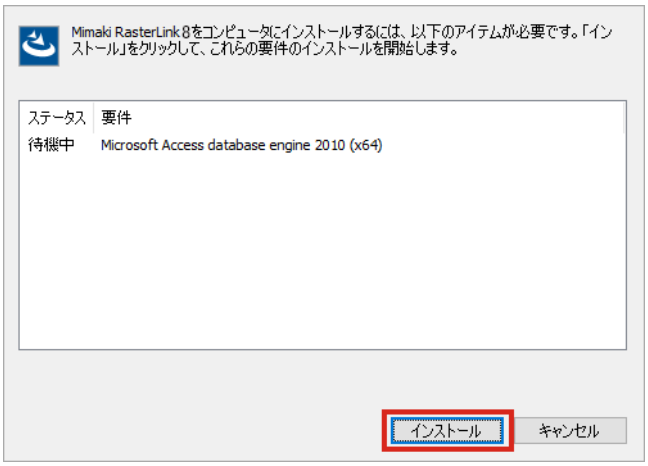
- Microsoft .NET Frameworkがインストールされていない場合、.NET Frameworkのインストーラーが起動するので、.NET Frameworkのインストールを先に完了してください。

1 **弊社公式サイト(https://japan.mimaki.com/download/software.html)よりRasterLink8のインストーラーをダウンロードします。**

2 **ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。**

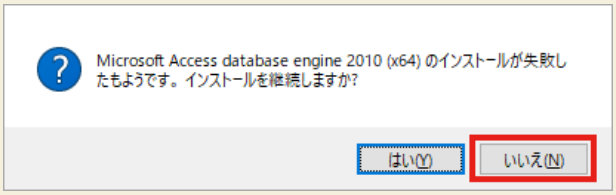
- 自動で解凍処理が始まります。
- 解凍されたインストーラーのフォルダーは、デスクトップに保存されます。
  インストールの完了後、フォルダーを削除してください。

3 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックします。

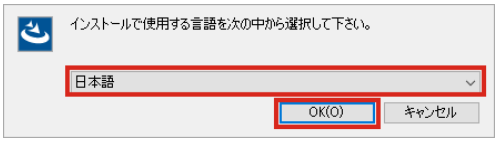


重要！

- Microsoft Office製品がインストールされている場合、以下のメッセージ画面が表示されることがあります。この場合、[はい]をクリックし、インストールを続行してください。（すでにインストールされているモジュールを再度インストールしようとしているために表示されるメッセージです。RasterLinkおよびOffice製品に影響はありません）

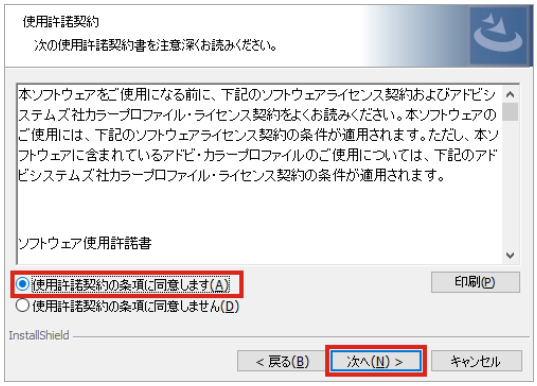


4 インストール時に表示する言語を選択し、[OK]をクリックします。



5 [次へ]をクリックします。

6 [使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。



7 インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。

- 十分な空き容量のあるドライブを指定してください。

8 [インストール]をクリックします。

- インストールが実行されます。

9 **RasterLink8のインストールが終了したら、[完了]をクリックします。**



重要！

- RasterLink8のインストール後、インストール先のすべてのフォルダー、ファイル名の変更および削除は絶対に行わないでください。

2.4 ライセンス認証

RasterLink8を継続してお使いいただくためには、ライセンス認証が必要になります。
ライセンス認証を行う場合、RasterLinkPCをインターネットに接続する必要があります。
（インターネットに接続できない場合、他のインターネットに接続されたPCを使用して認証を行うこともできます）

重要！ ライセンス認証では、シリアルキーおよびRasterLinkPCを特定するための情報（PCのハードウェアの構成情報から自動生成されます）が弊社へ送信されます。

- PCのハードウェア構成情報として、Ethernet機器の情報を使用します。
  ライセンス認証時に有効にしていたEthernet機器を無効にしないでください。有線⇔無線を切り替えた場合でも、それまで使用していた機器は有効のままにしてください。
  PPP接続やUSB接続型のネットワーク接続機器をご使用の場合も、Ethernet機器を有効にしてください。
- 初回起動から60日間は試用期間として、ライセンス認証をせずに使用できます。
  試用期間内にライセンス認証を行わない場合、試用期間終了後RasterLink8を使用できなくなります。
- ライセンス認証を行わない場合、以下の機能を使用できません。
  - プロファイルマネージャーの以下の機能
    -プロファイルダウンロード
    -最適なプロファイルのダウンロード

シリアルキーの発行について

シリアルキーはMA2を使用してオンラインで発行します。

シリアルキーのオンライン発行方法は「MA2　ユーザーズガイド」をご確認ください。

RasterLink8の製品ページにて閲覧可能です。

- MA2は、Microsoftストアで"mimaki"と検索してダウンロードするか、またはRasterLink8ユーティリティサイトからダウンロードしてインストールしてください。

RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合

1 **ライセンスの認証画面を起動します。**

- [スタート]メニューから[すべてのアプリ] - [Mimaki RasterLink8] - [ライセンス]を選択します。

2 **[ライセンス認証を行います]を選択し、[次へ]をクリックします。**



- プロキシサーバーをお使いの場合、［インターネットの接続オプション］をクリックし、設定してください。

3 各項目を設定し、[次へ]をクリックします。

- 認証処理が開始されます。
- 認証に成功するとライセンス認証が完了します。

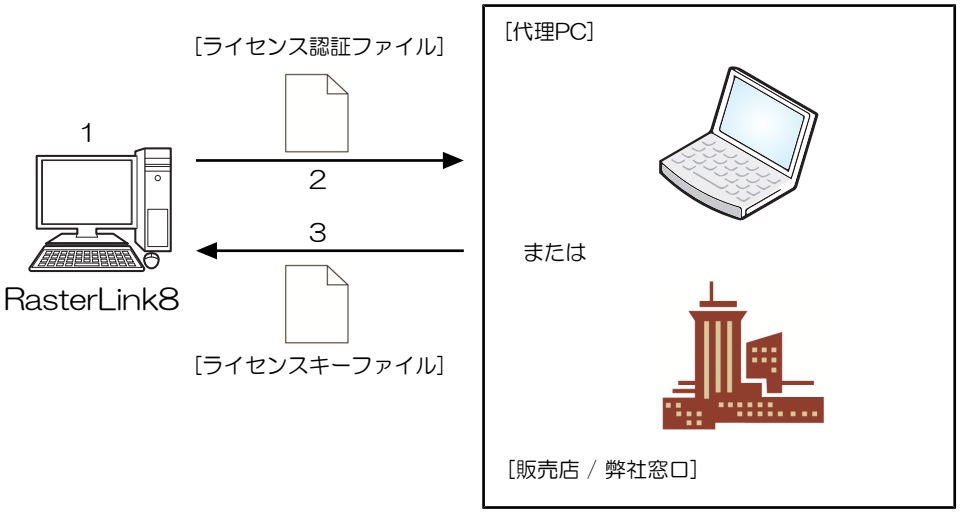


(1)	シリアルキー	MA2でオンライン発行したシリアルキーを入力します。

重要! • パーソナルファイアウォールが設定されている場合、接続確認画面が表示されることがあります。その場合、接続を許可してください。

RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合

RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合、以下の手順でライセンス認証を行います。



1 ライセンス認証ファイルを作成します。

- RasterLink8でライセンス認証ファイルを作成します。
☞「ライセンス認証ファイルの作成」（P. 23）

2 ライセンス認証ファイルをコピーします。

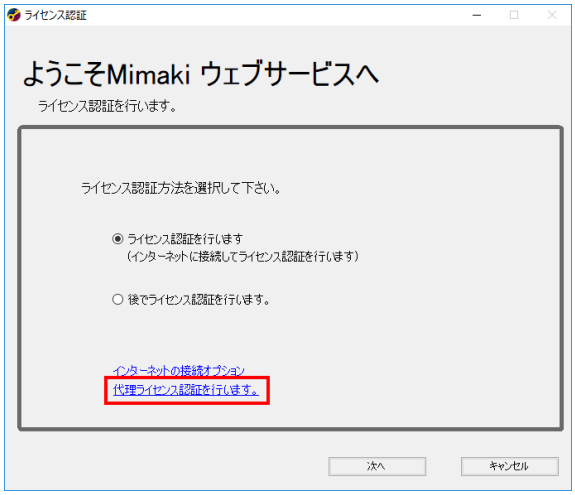
- インターネットに接続しているPCをお持ちの場合、そのPCへライセンス認証ファイルをコピーし、ライセンス認証を行います。
☞「代理PCでの操作」（P. 25）
- インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合、販売店 または弊社窓口にライセンス認証ファイルを送付していただくことでライセンス認証を行います。
ライセンス認証を行うと、ライセンスキーファイルが作成 / 送付されますので、RasterLinkPCの任意の場所へコピーしてください。

3 ライセンス認証ファイルを読み込みます。

- RasterLinkPCでライセンスキーファイルを読み込み、RasterLink8へライセンスキーを登録します。
☞「ライセンスキーファイルの読み込み」（P. 26）

ライセンス認証ファイルの作成

1 ☞「RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合」（P. 20）の手順1の方法で、[ライセンスの認証]画面を表示させ、[代理ライセンス認証を行います。]をクリックします。



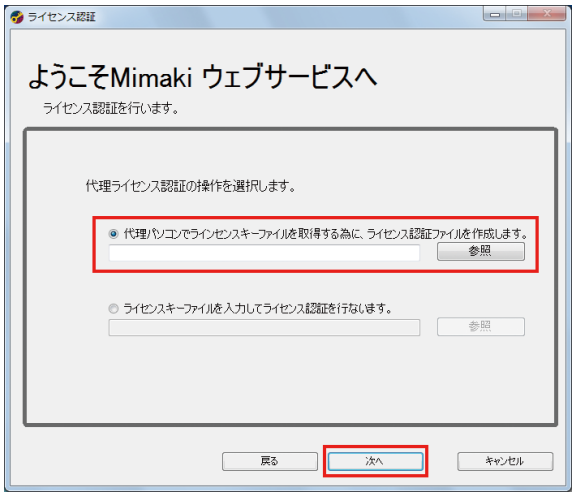
2 [代理パソコンでライセンスキーファイルを取得する為に、ライセンス認証ファイルを作成します。]を選択します。

(1) [参照]をクリックします。
- [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

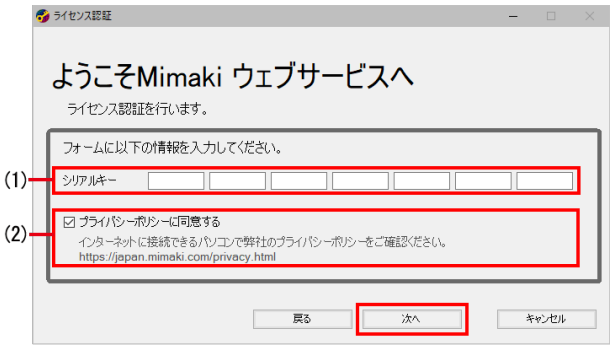
(2) 保存場所を指定します。

(3) 保存するファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

(4) [次へ]をクリックします。



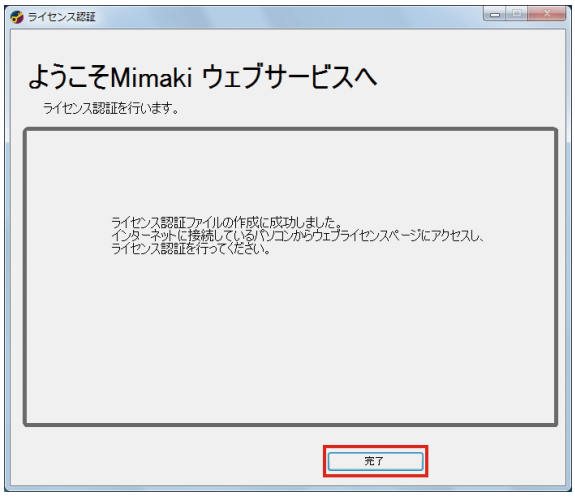
3 各項目を設定し、[次へ]をクリックします。



(1)	シリアルキー	MA2でオンライン発行したシリアルキーを入力します。
(2)	プライバシーポリシーに同意する	インターネットに接続できるパソコンで弊社のプライバシーポリシー（https://japan.mimaki.com/privacy.html）の内容を確認し、[プライバシーポリシーに同意する]のチェックをオンにします。 チェックをオンにすると[次へ]が有効になります。

4 [完了]をクリックします。

- ここでRasterLinkPCでの作業をいったん終了します。
- 代理PCを使用してライセンス認証を行う場合、ライセンス認証ファイルを代理PCへコピーしてください。
- 販売店または弊社にライセンス認証を依頼する場合は、各窓口にお問い合わせください。



代理PCでの操作

1 **Webブラウザーを起動し、以下のアドレスを入力します。**

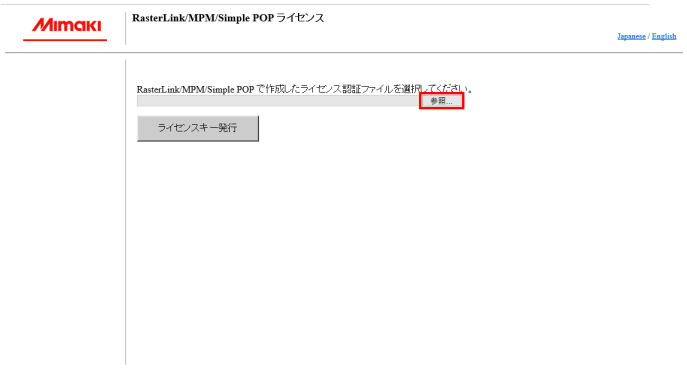
- http://miws.mimaki.jp/license/agencytop.aspx
- ライセンス認証ページが表示されます。

2 **［ライセンス認証］をクリックします。**



3 **[参照]をクリックします。**

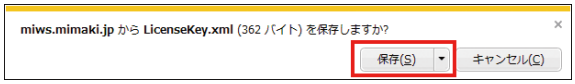
- [ファイルを開く]ダイアログが表示されるので、RasterLinkPCで保存したライセンス認証ファイルを指定します。



4 **[ライセンスキー発行]をクリックします。**



5 **[ファイルのダウンロード]ダイアログが表示されるので[保存]をクリックします。**



6 **[名前をつけて保存]ダイアログが表示されるので、任意の名前をつけて[保存]をクリックします。**

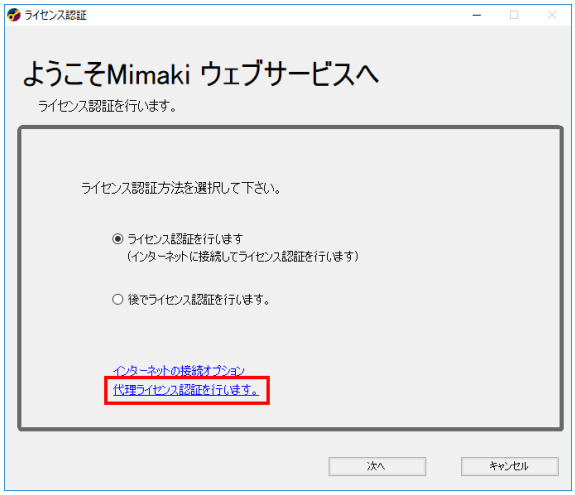
- 発行されたライセンスキーファイルがダウンロードされます。

7 保存したライセンスキーファイルをRasterLinkPCの任意の場所へコピーします。

- ☞「ライセンスキーファイルの読み込み」（P. 26）で使用します。

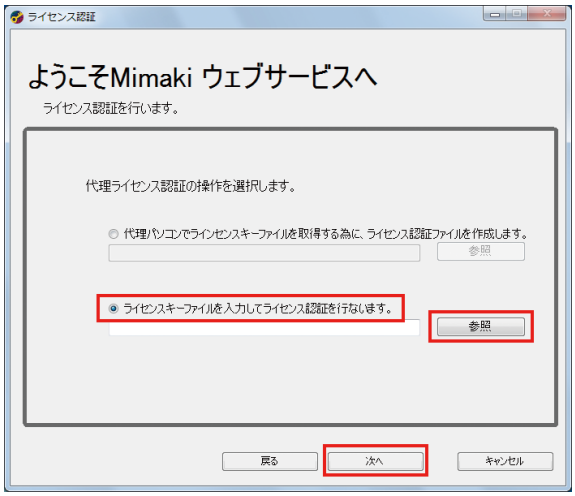
ライセンスキーファイルの読み込み

1 再度、RasterLinkPCでライセンスの認証画面を表示し、[代理ライセンス認証を行います。]をクリックします。



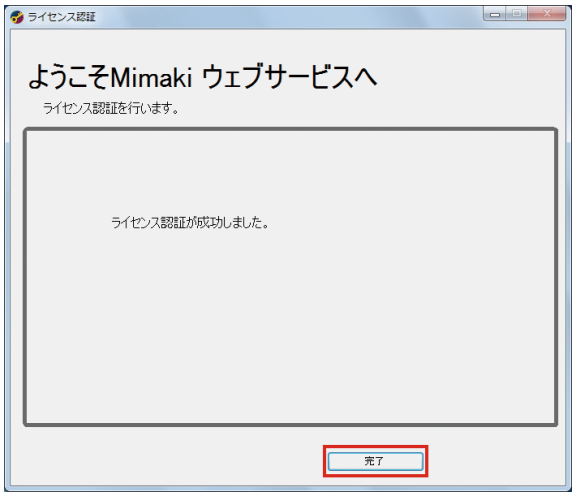
2 [ライセンスキーファイルを入力してライセンス認証を行ないます。]を選択し、[参照]をクリックします。

- [ライセンスキーファイルを指定]ダイアログが表示されます。ライセンスキーファイルを指定し、[次へ]をクリックします。



3 [完了]をクリックします。

- 認証が終了します。



2.5 プロファイルのインストール

RasterLink8を使用するには、以下のプロファイルが必要となります。

- 入力RGBプロファイル
- 入力CMYKプロファイル
- デバイスプロファイル

● 入力プロファイルについて

入力RGBプロファイル、入力CMYKプロファイルは、RasterLink8のインストール時に標準的なプロファイルが自動でインストールされます。
☞「入力プロファイルのインストール」（P. 32）

● デバイスプロファイルについて

デバイスプロファイルは、各自インストールが必要となります。インストール方法は以下の2つの方法があります。

- ☞「フォルダーからインストールする」（P. 28）
- ☞「インターネットからダウンロードしてインストールする」（P. 30）

これらのプロファイルは、[プロファイルマネージャー]を使用してインストールします。
[プロファイルマネージャー]はデバイスプロファイルおよび入力プロファイルのインストール、アンインストールを行うツールです。



- プロファイルおよび[プロファイルマネージャー]の詳細については、弊社公式サイトにある別冊「RasterLink8 プロファイルマネージャーリファレンスガイド」をご覧ください。

プロファイルのインストール手順

プロファイルマネージャーの起動

[スタート]メニューから[すべてのアプリ] - [Mimaki RasterLink8] - [プロファイルマネージャー]を選択します。



RasterLink8からも起動できます。
- メニューより[ツール]-[プロファイルマネージャー]
- プリンタ管理画面の[プリンタ管理]ボタン

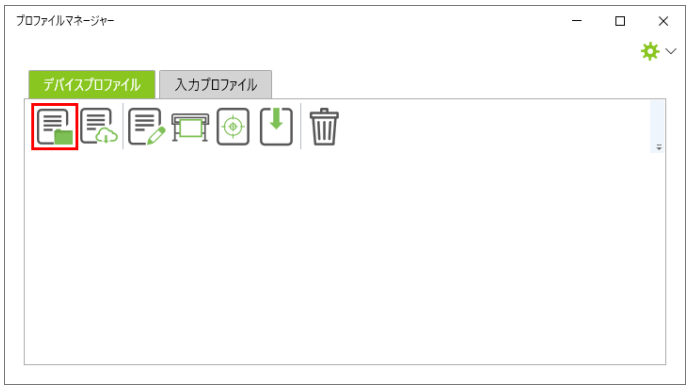
デバイスプロファイルのインストール

フォルダーからインストールする



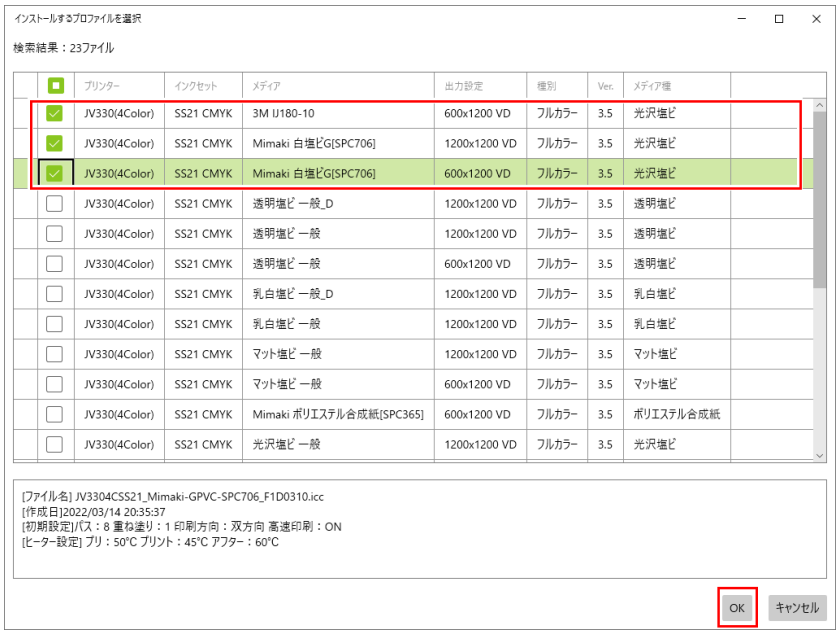
デバイスプロファイルは、以下の方法で入手することができます。
- 弊社公式ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/）からダウンロード
- MimakiProfileMaster3（別売）で作成

1 [フォルダーからインストール]のアイコンをクリックします。

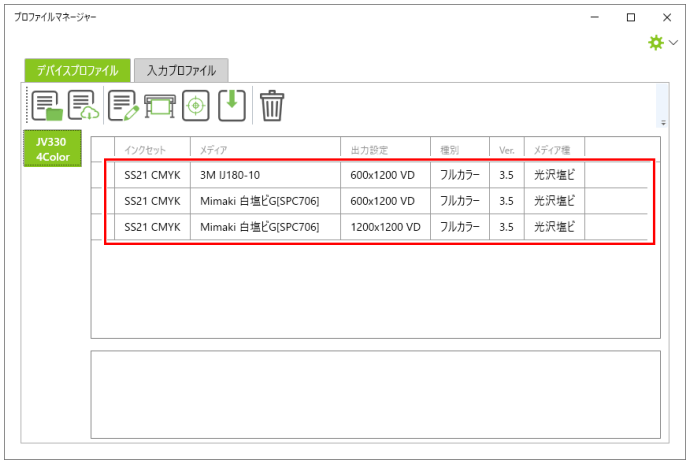


2 インストールするデバイスプロファイルのフォルダーを選択し、[フォルダーの選択]をクリックします。

3 インストールしたいプロファイルのチェックボックスをONにし、[OK]をクリックします。



- インストールされたプロファイルが表示されます。



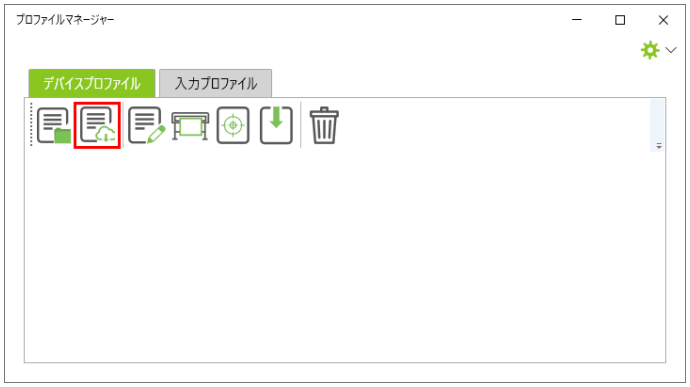
4 インストールしたいファイルが全てインストール出来たら、画面右上の×をクリックして終了させます。



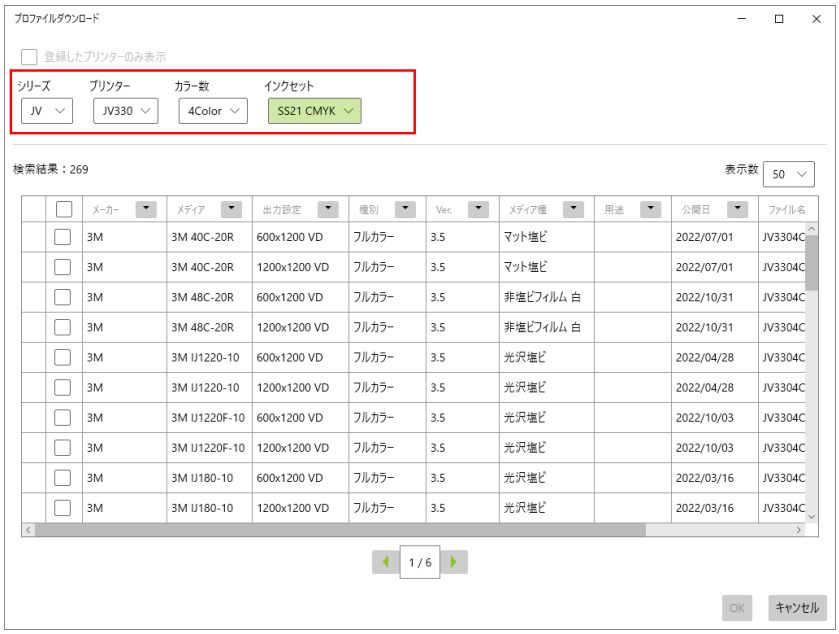
インターネットからダウンロードしてインストールする

重要! 本機能を使用するには以下が必要です。
- RasterLink8のライセンス認証を行っている
- インターネットに接続している

1 [ダウンロード]のアイコンをクリックします。



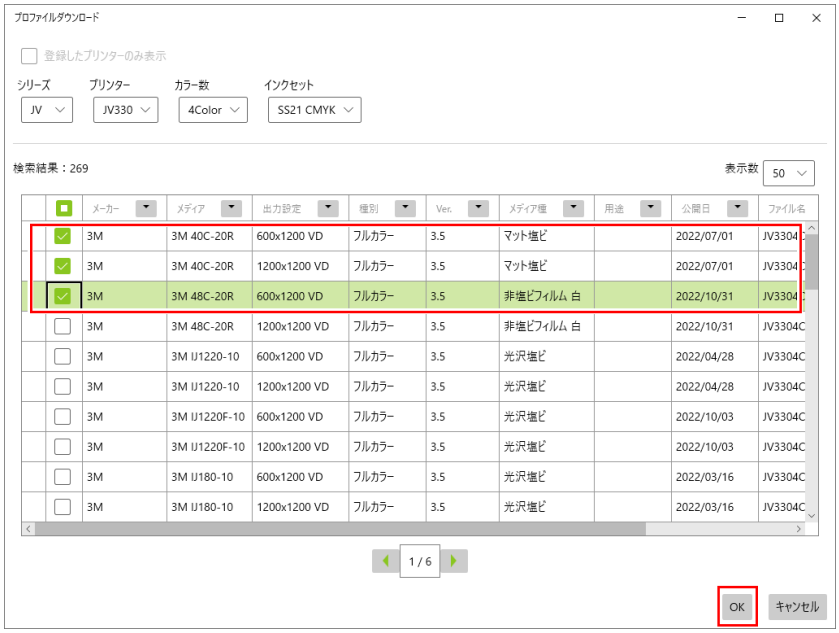
2 インストールしたいプロファイルの機種とインクセットを指定します。



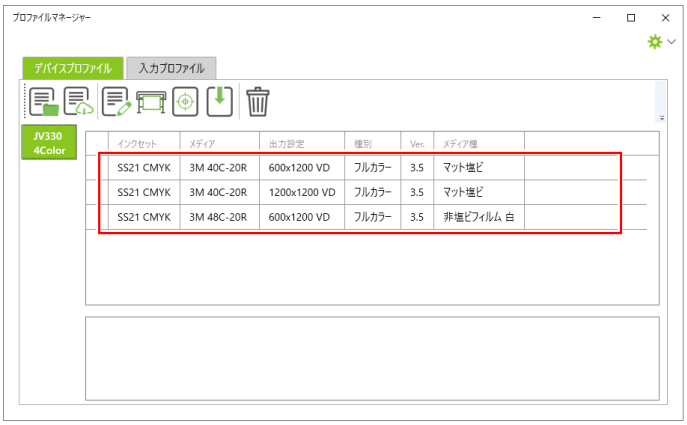
- インクセットを選択するとプロファイルの検索が開始されます。

3 インストールしたいプロファイルのチェックボックスをONにし、[OK]をクリックします。

- プロファイルのダウンロードが開始されます。
- インストール済みのプロファイルは、リストの先頭に[！]が表示されます。



- インストールされたプロファイルが表示されます。



4 インストールしたいファイルが全てインストール出来たら、画面右上の×をクリックして終了させます。

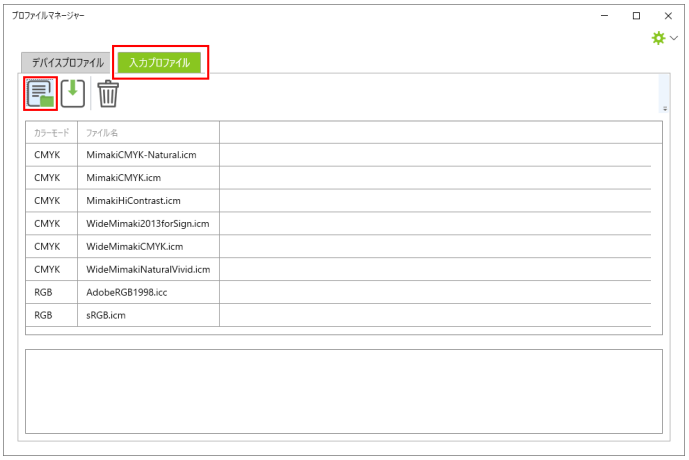


入力プロファイルのインストール

RasterLink8のインストール時に弊社が提供する入力プロファイルが自動的にインストールされます。他の入力プロファイルを使用する場合は、以下の方法でインストールしてください。

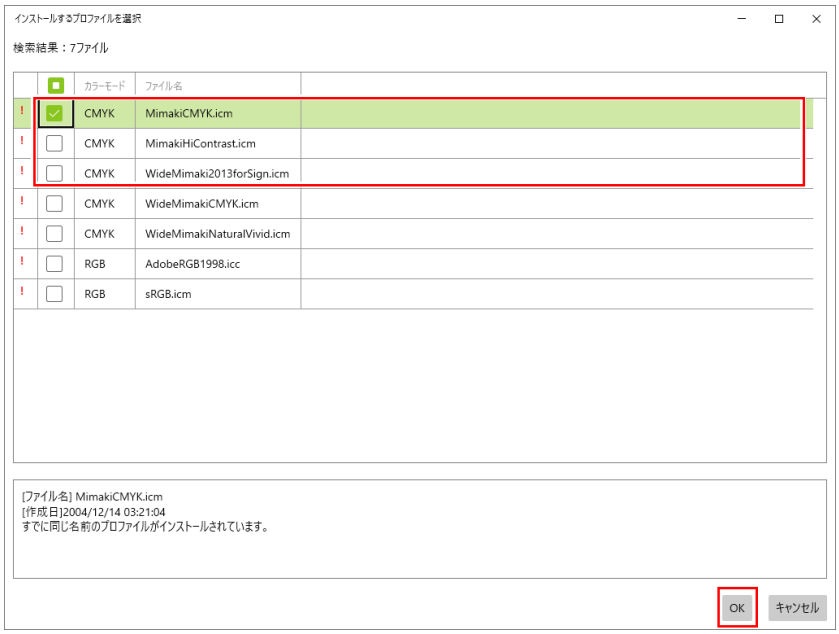
フォルダーからインストールする

1 [入力プロファイル]タブを選択し、[フォルダーからインストール]のアイコンをクリックします。

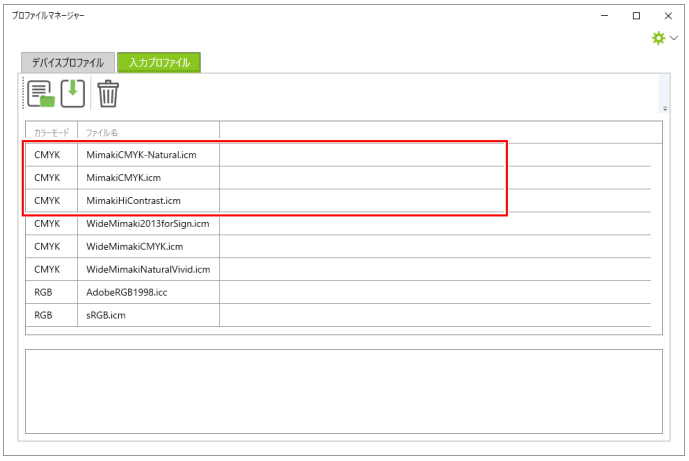


2 インストールする入力プロファイルのフォルダーを選択し、[フォルダーの選択]をクリックします。

3 インストールしたいプロファイルのチェックボックスをONにし、[OK]をクリックします。



- インストールされたプロファイルが表示されます。



4 インストールしたいファイルが全てインストール出来たら、画面右上の×をクリックして終了させます。

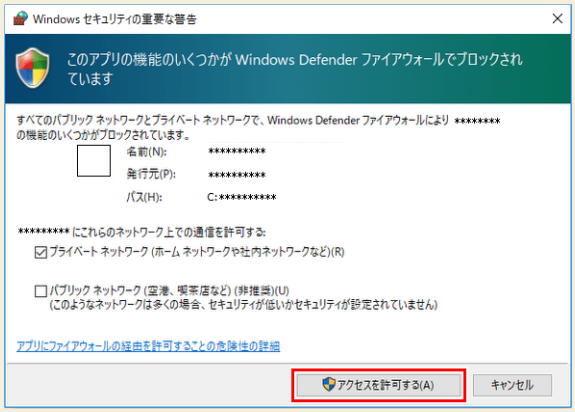


2.6 RasterLink8の初回起動

重要! RasterLink8を起動する前に、Windowsの電源モードの設定を[最適なパフォーマンス]にしてください。
- 電源モードの設定が[最適なパフォーマンス]以外に設定されている場合、RIP速度が遅くなることがあります。以下の箇所で設定を確認してください。
  [Windowsのスタート]メニューを右クリックし、[電源オプション] - [電源モード]

初回起動の手順

- 初回起動時、[このアプリの機能のいくつかがWindows Defenderファイアウォールでブロックされています]警告画面が表示されることがあります。その場合、[アクセスを許可する]をクリックしてください。



重要! - 初回起動時、以下の画面が表示されることがあります。その場合、[インストール]をクリックしてください。



1 デスクトップ上の**[Mimaki RasterLink8]**アイコン をダブルクリックします。
- [ユーザーアカウント制御]画面が表示されます。

- スタートメニューから起動する場合、[すべてのアプリ] - [Mimaki RasterLink8] - [Mimaki RasterLink8]を選択します。

2 [はい]をクリックします。



- アイコンにセキュリティセンターのマーク（盾）が表示されている場合、ファイル実行の際に[ユーザーアカウント制御]画面が表示され、ファイル実行許可の確認が必要になります。

プリンターの登録手順

RasterLink8のインストール直後はプリンターが登録されていません。[プリンタ管理]機能から、使用するプリンターを登録します。

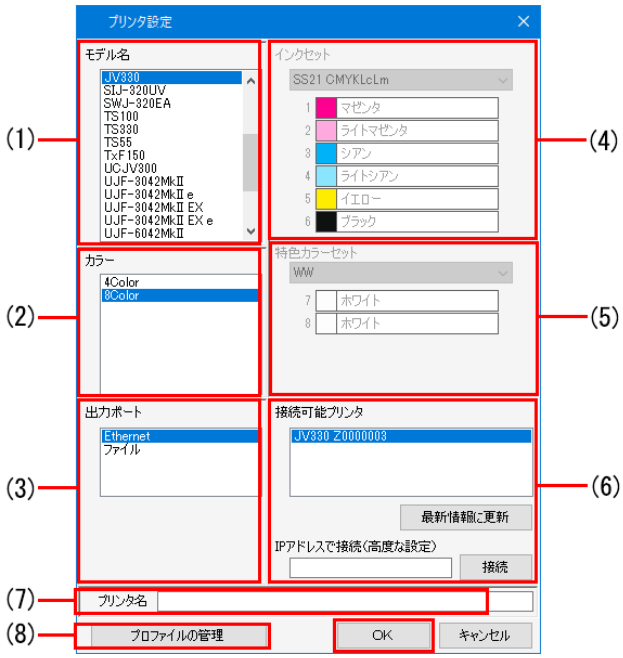
重要！
- プリンターを登録する前に、Windowsの[コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [管理ツール] - [サービス]の[Windows Firewall]を有効（実行中）にしてください。[Windows Firewall] が無効の場合、プリンターを登録することができません。

1 使用するプリンターの電源を入れて、RasterLinkPCとプリンターがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。

2 プリンターが登録されていない状態でRasterLink8を起動すると、[プリンタ管理]画面が表示されるので、[追加]をクリックします。



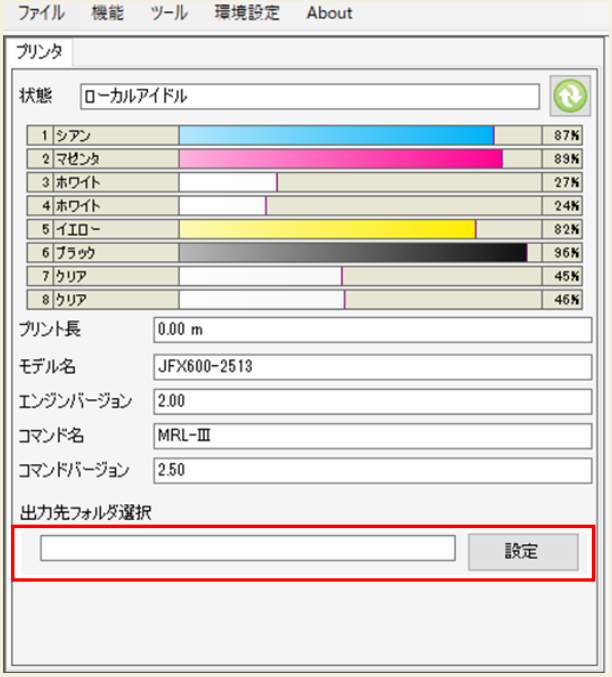
3 接続するプリンターに合わせて、以下の順で項目を設定します。



(1)	モデル名	登録したいプリンターを選択します。
(2)	カラー	プリンターに搭載されているカラー数を指定します。カラー設定が1つしか無いプリンターの場合、リストには何も表示されません。 プリンターにより、以下のいずれかのカラーが表示されます。プリンターの取扱説明書および設置時の設定を確認して設定してください。 • 4Color : CMYK（BMYK）のみ搭載している • 6Color : CMYK(BMYK)の他に最大2色インクを搭載している • 8Color : CMYK（BMYK）の他に最大4色インクを搭載している • 4Color+2 : CMYK(BMYK)の他に特色を2つ搭載している • 6Color+2 : CMYK(BMYK)の他に特色2つと他に最大2色まで搭載している
(3)	出力ポート	PCとプリンターをUSB2.0ケーブルで接続している場合は[USB2.0]、LANケーブルで接続している場合は[Ethernet]を選択してください。
(4)	インクセット	プリンターから自動的に取得されたインクセットを選択します。
(5)	特色カラーセット	特色カラーセットを選択します。
(6)	接続可能プリンタ	PCに接続されているプリンターの一覧(プリンターのシリアル番号もしくは、パネルで設定した[マシンメイショウ])が表示されます。登録するプリンターを選択してください。接続したプリンターが表示されない場合、[最新情報に更新]をクリックしてください。それでも表示されない場合は、以下の内容を確認してください。 • PCとプリンターが接続されていますか？ • プリンターの電源は入っていますか？ • 登録するプリンターに対応したMimakiドライバーはインストールされていますか? 「インストール前の設定」（P. 15）
	IPアドレスで接続（高度な設定）	ミマキ製プリンターに設定したIPアドレス（IPv4)を直接指定して接続できます。
(7)	プリンタ名	メインウインドウのプリンタータブ名として使用されます。プリンターを複数台登録する場合は、見分けがつく名前を入力してください。この名前はホットフォルダーとプリンタードライバーの名前としても使用されます。
(8)	プロファイル管理	プロファイルマネージャーを起動します。

重要! **JFX600またはTiger600-1800TSをお使いの場合**

- [出力ポート]に[Ethernet]を選択して登録することを推奨します。その場合、プリンターを登録後、以下のプリンタステータス画面で[出力先フォルダ選択]にMPCが公開しているホットフォルダーを指定してください。



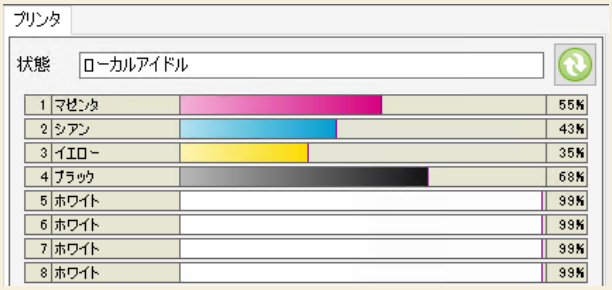
(1) [出力ポート]：[Ethernet]の場合
- プリンタステータス：表示可能
- インク消費量計算：可能
- 出力動作：指定した出力先フォルダーに”YYYYMMDDhhmmss”のファイル名で自動出力されます。

(2) [出力ポート]：[ファイル出力]の場合
- プリンタステータス：表示不可
- インク消費量計算：不可
- 出力動作：毎回出力先を指定します。

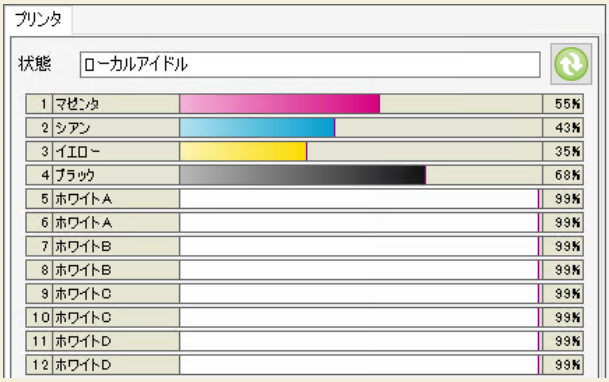
重要! **TxF150/TxF300をお使いの場合**

「ホワイトカートリッジ増設オプション」をご使用の場合、プリンターステータス画面のインク残量には、追加したすべてのインクカートリッジの情報が表示されます。
インク名の後ろに同じアルファベットが表示されているカートリッジがUISSとして1セットです。
例）TxF300

- オプションなし



- オプションあり



- 補足
  プリンター登録画面のインクセット表示には、「ホワイトカートリッジ増設オプション」の使用の有無に関わらず、追加したインクカートリッジの情報は表示されません。

重要! **TS330またはTS200をお使いの場合**

- 以下の条件の場合、プリンタ登録に必要なプロファイルに制限があります。ご注意ください。

- **TS330の場合**

No.	プリンタにセットしているインクセット	プリンタ登録に必要なプロファイルのインクセット	RasterLinkにインストールして使えるプロファイルのインクセット
1	昇華転写インク411 **BMYK**ViOrFyFp	**昇華転写インク411 BMYK**	• 昇華転写インク411 BMYK • 昇華転写インク411 BMYKViOrFyFp
2	昇華転写インク411 **BMYK**FyFp	**昇華転写インク411 BMYK**	• 昇華転写インク411 BMYK • 昇華転写インク411 BMYKFyFp
3	昇華転写インク411 **BMYKLbLm**FyFp	**昇華転写インク411 BMYKLbLm**	• 昇華転写インク411 BMYKLbLm • 昇華転写インク411 BMYKLbLmFyFp
4	昇華転写インク411 **BMYKLbLm**ViOr	**昇華転写インク411 BMYKLbLm**	• 昇華転写インク411 BMYKLbLm • 昇華転写インク411 BMYKLbLmViOr

- **TS200の場合**

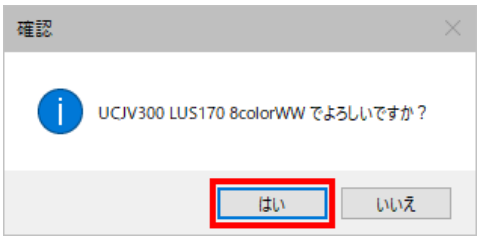
No.	プリンタにセットしているインクセット	プリンタ登録に必要なプロファイルのインクセット	RasterLinkにインストールして使えるプロファイルのインクセット
1	昇華転写インク411 **BMYK**ViOrFyFp	**昇華転写インク411 BMYK**	• 昇華転写インク411 BMYK • 昇華転写インク411 BMYKViOrFyFp

4 [OK]をクリックします。

重要!
- 選択したプリンター/カラー/インクセットに対応したデバイスプロファイルがインストールされていない場合、プリンターが登録できません。デバイスプロファイルのインストールを行ってください。
☞「プロファイルのインストール」（P. 28）

重要!
- 同一名称のプリンターの登録がなくても「そのプリンタ名は既に使用されています。」というエラーが表示されたり、プリンター登録時にホットフォルダーの作成に失敗したりする場合は以下をご覧ください。
プリンター登録時に名称重複エラーが出る、またはホットフォルダーの作成に失敗する場合1
プリンター登録時に名称重複エラーが出る、またはホットフォルダーの作成に失敗する場合2

5 [はい]をクリックします。

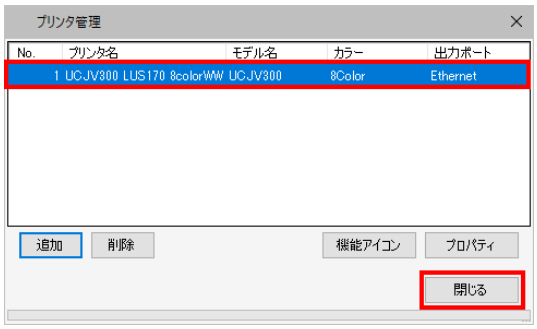


6 [ホットフォルダーとプリンターを作成しますか？]というメッセージが表示されます。登録したプリンターに対応するホットフォルダーとプリンターを作成する場合は、[はい]をクリックします。

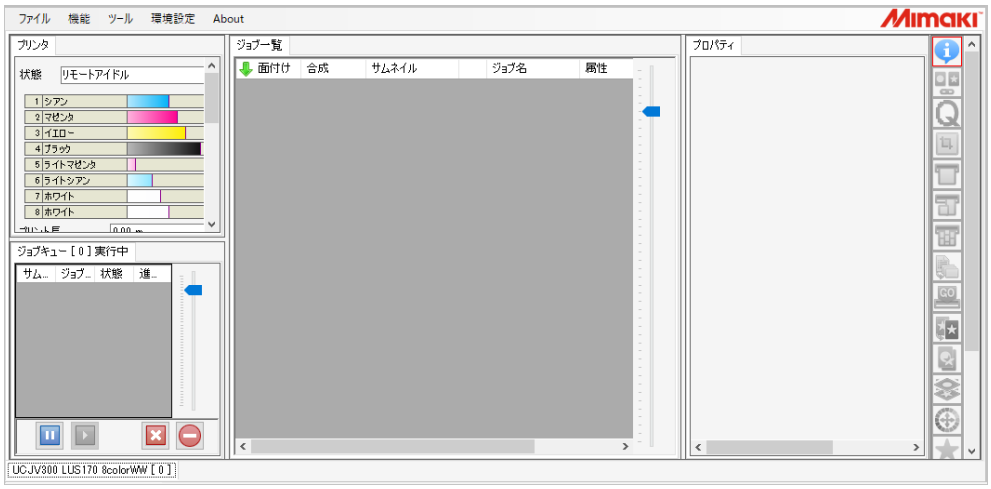


重要!
- 特に理由が無い場合は[はい]をクリックして、ホットフォルダーとプリンターを作成してください。(ここで[いいえ]をクリックしても、後でホットフォルダーとプリンターを作成することができます)
- ホットフォルダーとプリンターについて、詳しくは弊社公式サイトにある別冊「RasterLink8 リファレンスガイド」および「RasterLink8 ネットワーク接続ガイド」をご覧ください。

7 プリンターが追加されます。[閉じる]をクリックします。



- RasterLink8のメインウインドウが表示されます。



カッティングデバイスの登録手順

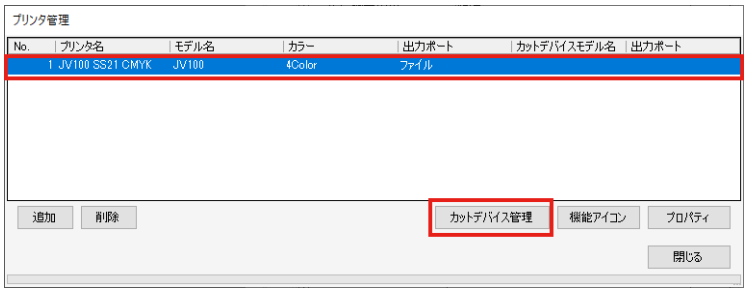
RasterLink8から対応しているカッティングデバイスに直接カットデータを送信できます。RasterLink8では、登録済みのプリンターに対してカッティングデバイスを紐づけます。

1 使用するプリンターを登録します。☞「プリンターの登録手順」（P. 36）

2 使用するカッティングデバイスの電源を入れ、RasterLinkPCとUSBケーブルもしくはLANケーブルで接続されていることを確認します。

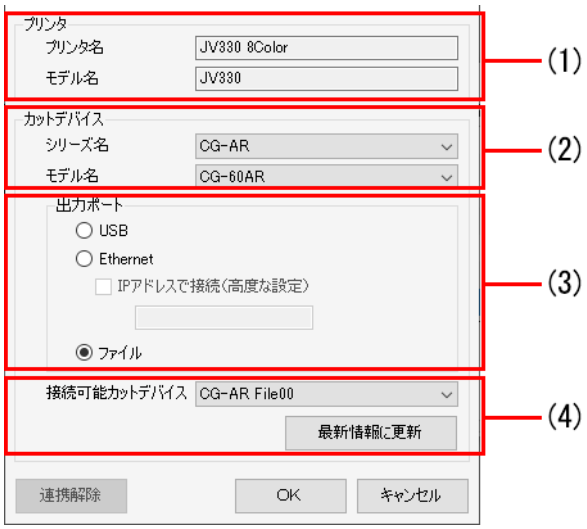
3 RasterLink8のメニューより[環境設定]-[プリンタ管理]をクリックします。

4 カッティングデバイスを紐づけたいプリンターを選択、[カットデバイス管理]をクリックします。



- [カットデバイス管理]画面が表示されます。

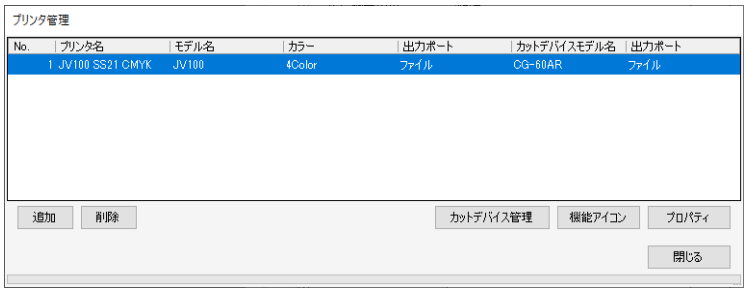
5 以下の項目を設定します。



(1)	プリンター	[プリンター管理]で選択したプリンターの情報です。
(2)	カットデバイス	プリンターに紐づけるカッティングデバイスのシリーズ/モデル名を選択します。
(3)	出力ポート	PCとプリンターをUSBケーブルで接続している場合は[USB]を、LANケーブルで接続している場合は[Ether]を選択してください。
(4)	連携可能カットデバイス	[出力ポート]で選択した方法で接続されているカッティングデバイスの一覧（カッティングデバイス名とシリアル番号）が表示されます。使用するデバイスを選択してください。 接続したデバイスが表示されない場合、[最新情報に更新]ボタンをクリックしてください。クリックしても表示されない場合、以下を確認してください。 • PCとデバイスは接続されているか？ • PCとデバイスは接続されているか？ • デバイスの電源は入っているか？ • 登録するデバイスに対応してMimakiドライバーはインストールされているか？☞「インストール前の設定」（P. 15）

6 [OK]ボタンを押します。

• [プリンタ管理]画面に紐づけしたカッティングデバイスの情報が表示されます。



2.7 MimakiドライバーとRasterLink8のバージョンアップ

MimakiドライバーおよびRasterLink8のバージョンアップをするには以下の方法があります。

- ☞「公式サイトからのインストーラーのダウンロード」（P. 44）
- ☞「MA2からバージョンアップ」（P. 44）

MA2からバージョンアップ

Mimaki Application Assistant (MA2)を使用してRasterLink8バージョンアップを行います。

詳しくは、別冊「MA2　ユーザーズガイド」をご覧ください。

公式サイトからのインストーラーのダウンロード

弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/product/software/rip/raster-link8/download.html）からインストーラーをダウンロードすることができます。

バージョンアップ方法については、公式サイトをご覧ください。

重要！
- 定期的に公式サイトをご確認いただくことをおすすめします。

第 3 章　RasterLink8の機能拡張



この章では...

RasterLink8には、以下の2つの拡張機能があります。
1. RasterLinkTools
2. CuttingLink

本章ではこの2つの拡張機能について説明します。

RasterLinkToolsのインストールとバージョンアップ.....46
CuttingLinkのインストール.....47
　システム要件.....47
　インストールの手順.....47

3.1 RasterLinkToolsのインストールとバージョンアップ

RasterLinkToolsとは、RasterLink6以降のプリント＆カットデータ、および特色版用画像を作成するための Adobe Illustrator プラグインツールです。RasterLink8本体とは別にインストールが必要です。

インストール方法については、弊社公式サイトにある別冊「RasterLinkTools ガイド」をご覧ください。

3.2 CuttingLinkのインストール

CuttingLinkとは、IDカットでカットデータを管理するためのツールです。RasterLink8 本体とは別にインストールが必要です。詳しくは弊社公式サイトに掲載されている「IDカットガイド」をご覧ください。

システム要件

CuttingLinkをインストールして使用するためには、以下の条件が必要です。

CuttingLinkインストール用PC

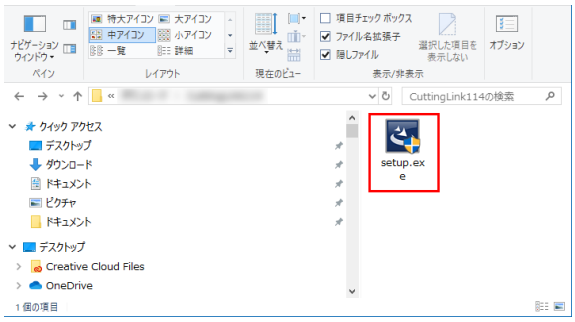
OS	Microsoft® Windows 10® Home (32bit 版 /64bit 版) Microsoft® Windows 10® Pro (32bit 版 /64bit 版) Microsoft® Windows 10® Enterprise (32bit版/64bit 版) Microsoft® Windows 11® Home Microsoft® Windows 11® Pro

インストールの手順

1 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/product/software/rip/raster-link8/download.html）から CuttingLink のインストーラーをダウンロードします。

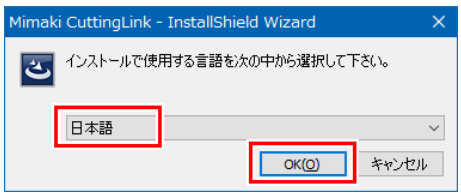
2 インストーラーをダブルクリックします。

- インストーラーが起動します。



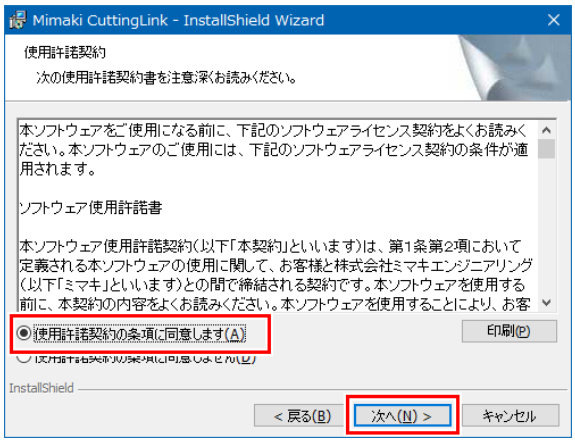
3 インストールで使用する言語を選択し、 [OK]をクリックします。

- PC に Microsoft .NET Framework がインストールされていない場合、Microsoft .NET Framework のインストーラーが起動するので、別途インストールしてください。



4 [次へ]をクリックします。

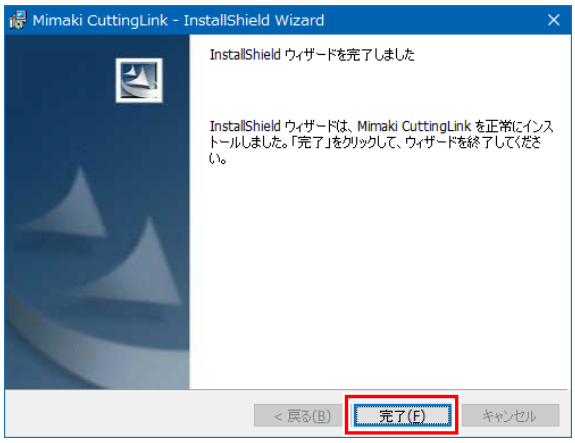
5 [使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。



6 [インストール]をクリックします。

7 [完了]をクリックします。

- 以上でインストールは終了です。



第 4 章　RasterLink8のアンインストール



この章では...

RasterLink8のアンインストールについて説明します。

アンインストールの流れ.....50
ライセンス認証の解除方法.....51
RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合..... 51
RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合..... 52
アンインストールの手順.....57

4.1 アンインストールの流れ

1. ライセンス認証の解除

☞「ライセンス認証の解除方法」（P. 51）

- ライセンス認証を解除します。

2. RasterLink8のアンインストール

☞「アンインストールの手順」（P. 57）

- RasterLink8をアンインストールします。

4.2 ライセンス認証の解除方法

RasterLink8をアンインストールする際には、ライセンス認証を解除する必要があります。
ライセンス認証の解除手順は、以下の2つの方法があります。

- 「RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合」（P. 51）
- 「RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合」（P. 52）

重要！
- ライセンス認証の解除をしないでアンインストールをした場合、アンインストールの途中でライセンス認証の解除を促す画面が表示されます。
- 別のPCにインストールする前に認証済みPCのライセンス認証を必ず解除してください。解除しない場合、他のPCにRasterLink8をインストールしてもライセンス認証が行えないため、継続して使用することができません。

RasterLinkPCがインターネットに接続されている場合

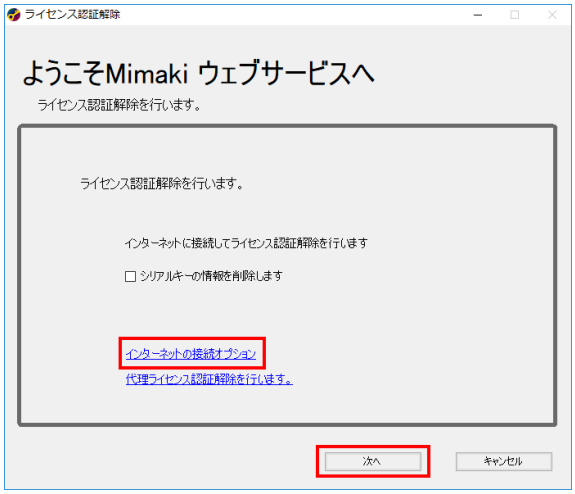
1 PCの[スタート]メニューから[Mimaki RasterLink8] - [ライセンス]を選択します。

- [ライセンス認証解除]画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックします。

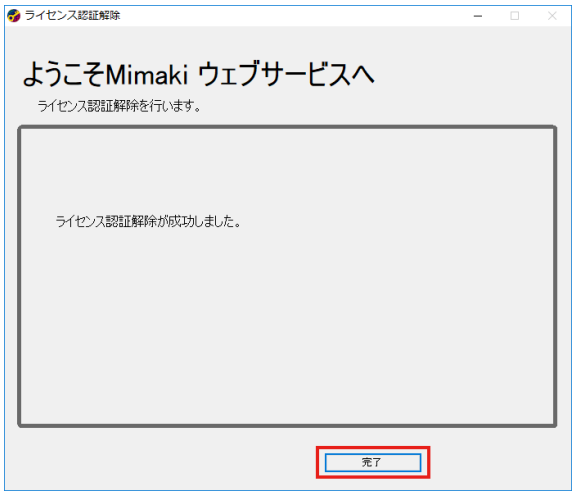
- プロキシサーバーをお使いの場合、[インターネットの接続オプション]をクリックして、プロキシサーバーの設定を行ってください。
- サーバーに接続し、ライセンス認証が解除されます。

重要！
- パーソナルファイアウォールが設定されている場合、接続確認画面が表示されることがあります。その場合は、接続を許可してください。



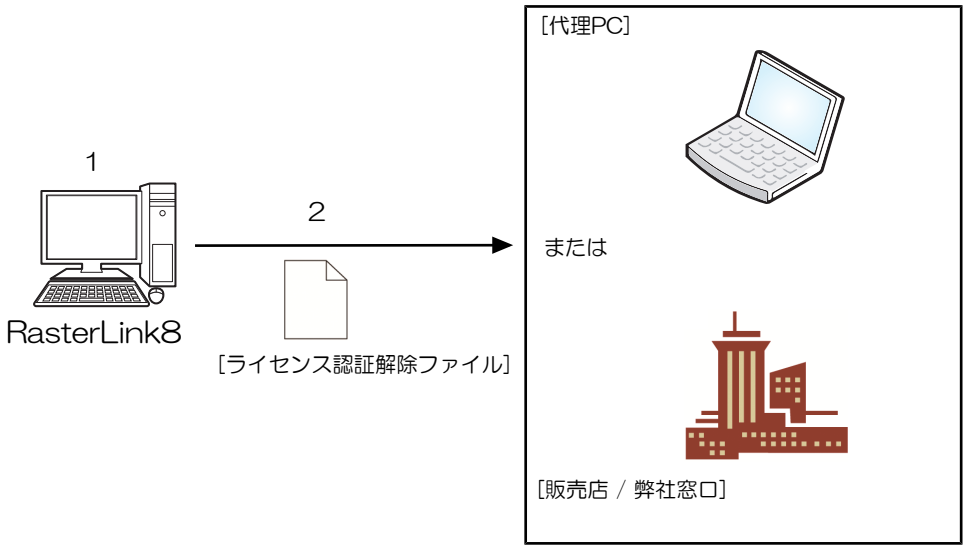
3 [完了]をクリックします。

- ライセンス認証の解除はこれで完了です。



RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合

RasterLinkPCがインターネットに接続されていない場合、代理ライセンス認証と同様、代理でライセンス認証解除を行うことができます。



1 ライセンス認証解除ファイルを作成します。

- RasterLinkPCでライセンス認証解除ファイルを作成します。
☞「RasterLinkPCでの操作」（P. 53）

2 ライセンス認証を解除します。

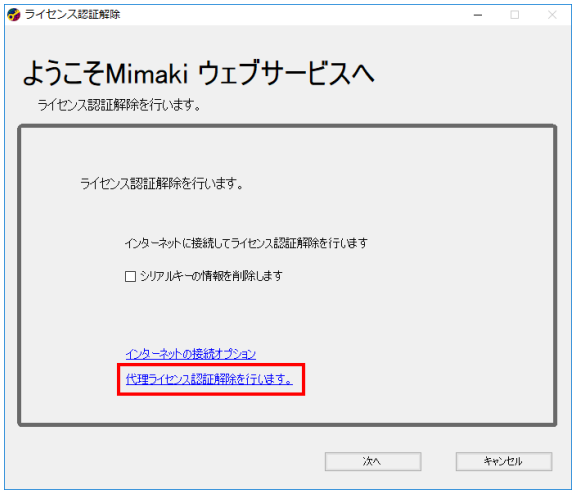
- インターネットに接続しているPCがある場合、そのPCへライセンス認証解除ファイルをコピーしてライセンス認証の解除を行います。
☞「代理PCでの操作」（P. 55）
- インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合、販売店または弊社窓口にライセンス認証解除ファイルを送付していただくことでライセンス認証の解除を行うことができます。

RasterLinkPCでの操作

1 **[スタート]メニューから[Mimaki RasterLink8] - [ライセンス]を選択します。**

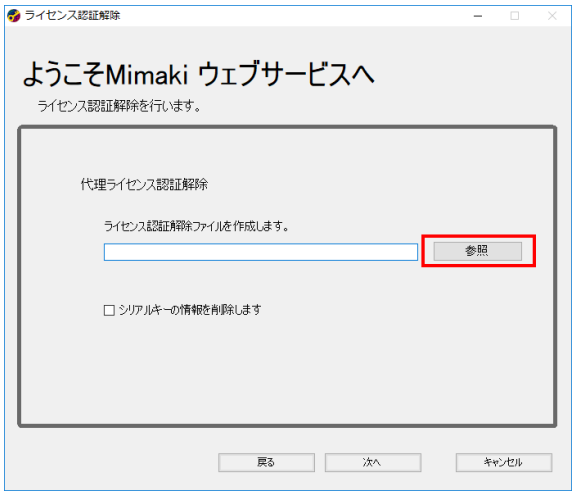
- [ライセンス認証解除]画面が表示されます。

2 **[代理ライセンス認証解除を行います。]をクリックします。**

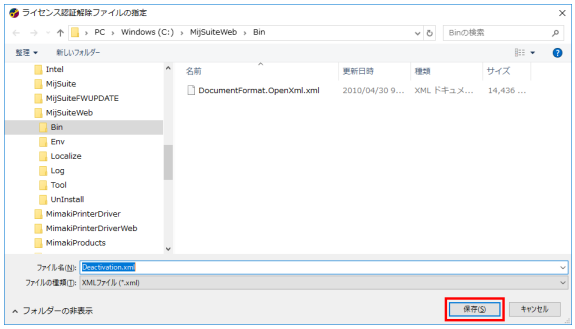


3 **ライセンス認証解除用ファイルを保存します。**

(1) [参照]をクリックします。

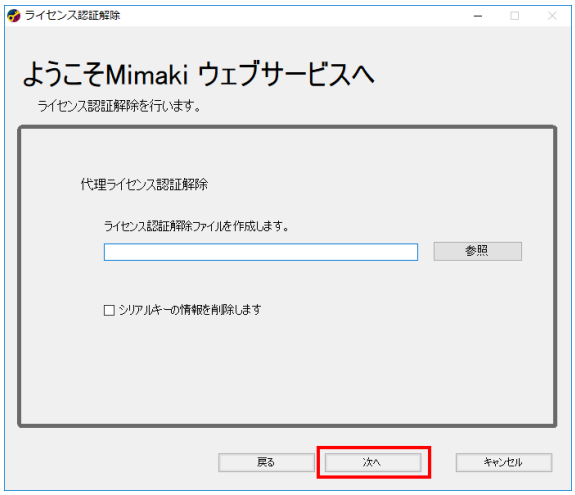


(2) [ライセンス認証解除ファイルの指定]ダイアログが表示されるので、任意の名前をつけて[保存]をクリックします。



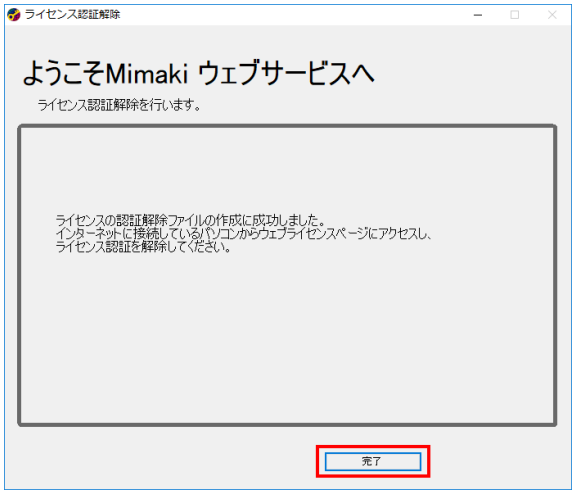
4 [次へ]をクリックします。

- ライセンス認証解除用ファイルが作成されます。



5 [完了]をクリックします。

- RasterLinkPCでの作業はこれで完了です。
- この時点でRasterLink8はライセンスが解除された状態となり、使用できなくなります。
- 代理PCを使用してライセンス認証解除を行う場合、ライセンス認証解除用ファイルを代理PCへコピーしてください。
  ☞「代理PCでの操作」（P. 55）
- 販売店または弊社にライセンス認証解除を依頼する場合、各窓口にお問い合わせください。



重要！
- ライセンス認証解除ファイルは、ライセンス認証の解除が終了するまで、大切に保管してください。解除前に紛失すると、ライセンス認証の解除ができず、他のPCでRasterLink8が使用できなくなります。

代理PCでの操作

1 **Webブラウザーを起動し、以下のアドレスを入力します。**

- http://miws.mimaki.jp/license/agencytop.aspx
- ライセンス認証画面が表示されます。

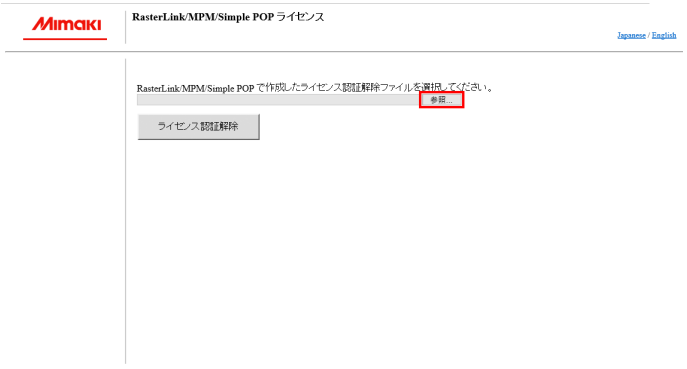


2 **［ライセンス認証解除］をクリックします。**



3 **[参照]をクリックします。**

- ダイアログが表示されます。



4 **RasterLinkPCで作成したライセンス認証解除用ファイルを選択し、[開く]をクリックします。**

5 ［ライセンス認証解除］をクリックします。

- 以上でライセンス認証の解除は完了です。



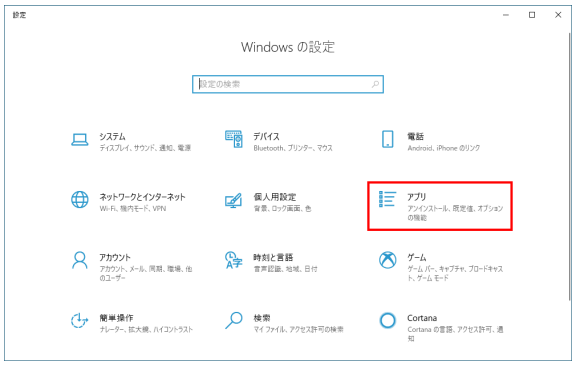
4.3 アンインストールの手順

RasterLink8のアンインストール手順を説明します。

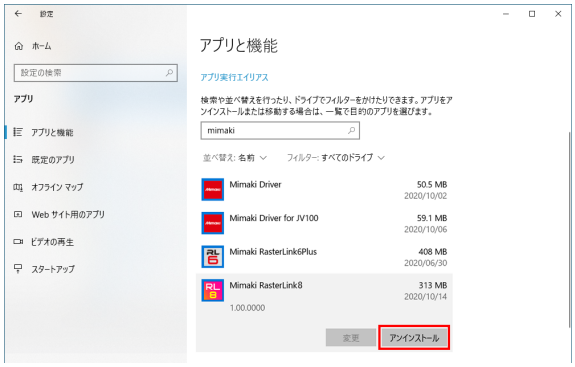
重要! アンインストールを行うと、RasterLink8のすべての設定が削除されます。アンインストールを開始する前に、以下を確認してください。

- RasterLink8が起動していないこと
- RasterLink8のライセンス認証を解除していること
- RasterLink8のホットフォルダーを開いていないこと（ネットワーク経由でも）
- RasterLink8のプリンターを使用していないこと（ネットワーク経由でも）
- Macintosh とのネットワーク接続（SMBなど）で、RasterLink8のホットフォルダーおよびプリンターを共有で使用していないこと

1 **[設定]-[アプリ]-[アプリと機能]をクリックします。**

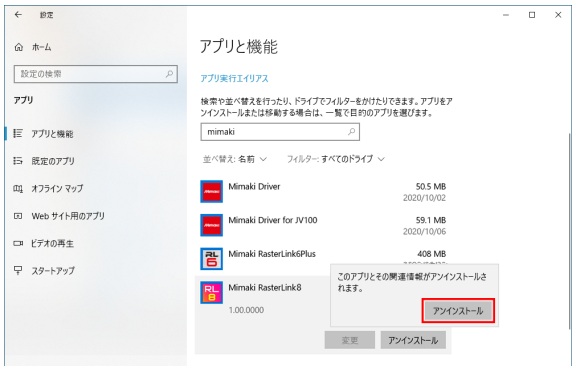


2 **[アプリと機能]の一覧から、[Mimaki RasterLink8]を選択して[アンインストール]をクリックします。**



3 **[アンインストール]をクリックします。**

- アンインストールが開始されます。

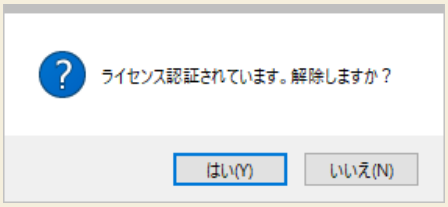


4 **[はい]をクリックし、PCを再起動します。**

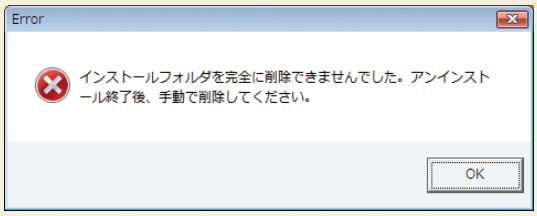
- 以上で、アンインストールは完了です。

重要！

- ライセンス認証を解除していない場合、認証の解除を促す画面が表示されます。
  [はい]をクリックすると、ライセンス認証解除画面が表示されます。
  ☞「ライセンス認証の解除方法」（P. 51）
  ライセンス認証解除後、アンインストールを続けます。
  [いいえ]をクリックするとライセンス認証解除せずにアンインストールを続けます。



- アンインストールの途中で以下のメッセージが表示される場合があります。この場合、アンインストール後にインストールフォルダーを手動で削除してください。



重要！ RasterLink8をアンインストール後に再インストールする場合、以下の2 つのフォルダーが残っていると、RasterLink8が正常に動作しない場合があります。必ず、再インストールの前に削除してください。

- 以前インストールしたときのインストールフォルダー
- 以前使用していた作業フォルダー

第 5 章　こんなときは



この章では...

トラブルが起きたときの解消方法や、やり方がわからないときの操作方法などを説明します。

ライセンス認証に関するトラブルシューティング 60
事例ごとの対処方法 60
PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法 61
プリンター登録時に名称重複エラーが出る、またはホットフォルダーの作成に失敗する場合 63
プリンター登録でプリンターが見つからない場合 65

5.1 ライセンス認証に関するトラブルシューティング

事例による対処方法とPCが故障した場合の認証解除について説明します。

事例ごとの対処方法

ライセンス認証で問題が起こったときの対処方法を説明します。

ライセンス認証を解除しないで以下のことを行ってしまった。

- RasterLink8をアンインストールしてしまった。
- OS を再インストールしてしまった。
- OS が入っているハードディスク を入れ替えてしまった。

他のPCでライセンス認証しない限り、一度ライセンス認証したPCで何度でもライセンス認証することができます。

● 再度同じPC でRasterLink8 を使用する場合

(1) RasterLink8 を再インストールします。
(2) ライセンス認証を起動し、同じシリアルキーを入力します。
  • 再度ライセンス認証されます。

● 違うPC でRasterLink8 を使用する場合

(1) Web からライセンス認証解除を実行し、ライセンス認証を解除します。
☞「PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法」（P. 61）
(2) RasterLink8 を使用したいPC にRasterLink8 をインストールします。
(3) ライセンス認証を起動し、(1)で解除したシリアルキーを入力します。

ライセンス認証を解除しないで、PC を入れ替えてしまった。

Web からライセンス認証解除を実行し、ライセンス認証を解除します。
☞「PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法」（P. 61）

PC を修理に出したところ、[プロファイルアップデート]を実行するとエラーメッセージが出てしまい、使えなくなってしまった。

RasterLink8は、ライセンス認証時にPCの特定の機器から固有情報を取得します。その機器がPCの修理時に入れ替えられた可能性があります。このような場合、再度ライセンス認証する必要があります。以下の手順により、ライセンス認証してください。

(1) Web からライセンス認証解除を実行し、ライセンス認証を解除します。
☞「PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法」（P. 61）
(2) エラーが発生したRasterLinkPC でRasterLink8 を起動します。
  • 再度ライセンス認証されます。

シリアルキーを紛失してしまった。

● ライセンス認証を解除した後に、シリアルキーを紛失していたことに気が付いた

この場合、ライセンス認証解除時に、[ライセンス認証解除]画面の[シリアルキーの情報を削除します]チェックボックスをオフ にしていれば、PC にシリアルキーの情報が残っています。チェックボックスは初期設定ではオフ になっています。

シリアルキー入力画面に、前回入力したシリアルキーが表示されるか確認してください。

PCが故障してしまった場合のライセンス認証解除方法

通常のライセンス認証解除が実行できず、他のPCでもRasterLink8 が使用できなくなった場合、以下の手順でライセンス認証を解除することができます。

重要！

- 通常のライセンス認証解除が行える場合は、この機能を使用しないでください。RasterLink8 が正常に動作しなくなる場合があります。
☞「ライセンス認証の解除方法」（P. 51）

1 **Web ブラウザーを起動し、以下のアドレスを入力します。**

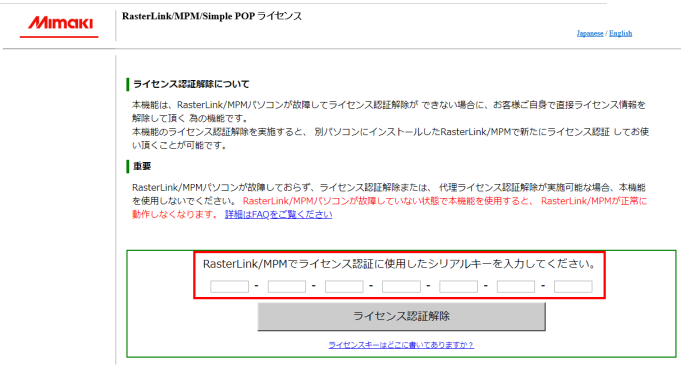
- http://miws.mimaki.jp/license/agencytop.aspx
- ライセンス認証画面が表示されます。



2 **[パソコン故障時のライセンス認証解除]をクリックします。**



3 シリアルキー入力フォームに、認証していたシリアルキーを入力します。



4 ライセンス認証解除をクリックします。

- 以上でライセンス認証の解除は完了です。



5.2 プリンター登録時に名称重複エラーが出る、またはホットフォルダーの作成に失敗する場合

同じ名称のプリンターを登録していなくても「そのプリンタ名は既に使用されています。」というエラーが表示されてプリンタ登録に失敗する場合や、プリンタの登録時にホットフォルダーの作成に失敗する場合は、以下の手順でWindowsの日付表示形式を変更してください。

1 **RasterLink8を終了します。**

2 **インターネットに接続されている環境で、Windowsのスタートメニューから[設定]を起動します。**

- [設定]画面が表示されます。

3 **[設定]画面で、[時刻と言語] – [言語と地域]を選択します。**



4 [地域設定]右横の[∨]をクリックして[形式を変更]を選択します。



5 [日付(短い形式)]で曜日を含む形式を選択している場合、曜日を含まない形式を選択します。



6 [設定]画面を閉じます。

7 RasterLink8を起動してプリンターを登録、またはホットフォルダーを作成します。

5.3 プリンター登録でプリンターが見つからない場合

- RasterLink8をインストールしているPCのIPアドレスとプリンターのIPアドレスが重複していないことを確認してください。
- DHCPまたは固定IPアドレスに誤りがないか確認してください。

RasterLink8　インストールガイド マニュアル操作編

2026年11月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D204012-11-16112026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

KW

SW : 1.0.1